

第一回環境こだわり農業審議会におけるご意見への対応状況

	意見等	原案での対応状況
黒川委員	大豆の作付けが多いが、店頭では見かけない、年中店頭にある加工品で認知度を上げていくのも重要ではないか	重点施策2で記載(第5-2-(3))
小野委員	マークを表示している方が優位となるような施策が有効。例えば、事業要件に表示を加える等しては	指摘を踏まえ事業実施の段階で検討
中井委員	地球環境の変化、高齢化に伴う減産、新規就農への対応が必要	本計画では環境こだわり野菜に限定した取組を記載
中井委員	野菜の契約栽培を進めているが、例えばキャベツで契約数量に未達の状態。未達では販売に限界がある	本計画では環境こだわり野菜に限定した取組を記載
中井委員	野菜の安定生産に向けては、水田の畑地化等土地改良が必要	本計画では環境こだわり野菜に限定した取組を記載
岡本委員	消費者(首都圏)に滋賀のオーガニックをPRする際には、琵琶湖環境保全の取組であることのアピールが必要	指摘を踏まえ事業実施の段階で検討
和田委員	オーガニック茶の海外需要大きく、積極的に取り組んでいく。しかし、生産量が減ることから、販売価格と生産技術が必要。試験場の技術開発に期待	生産技術の開発と販路の開拓について記載(第5-3-(1))
小川委員	学校給食で地場の野菜が少ない。重点品目の選定をどのように考えているのか	園芸振興協議会で実需者とも相談しながら、作りやすさや売りやすさを評価し選定
小川委員	大豆の作付けが大きい。学校給食において加工食品の利用が多いが目標に無い。	これまでの取組を継続し、推進方を記載(第5-2-(3))
小川委員	こだわりの推進に食育は無いのか	これまでの取組を継続し記載(第5-1-(2))
北川委員	こだわり農業という表現は生産者の取組というふう認識されやすく、消費者の取組としても意識向上を進める必要がある	消費者組織とも一緒に取り組む旨記載(第5-1-(2)、第6-4)
永井委員	オーガニックをこだわりの上に表示することで、こだわりが格下に見えてしまう。オーガニックだけでなく、これまで生産者ががんばってきたこだわりの推進をどう表記するのか	重点施策1と2それぞれの項目で記載(第5-1、2)
小野委員	ある事業者は取組の1割がオーガニックだが、ほとんどがオーガニックのようなイメージを与える戦略。オーガニックと減産が上と下の関係となるような想起をさせないよう、それぞれの取組をリスペクトして取扱。それぞれの商品に客が付く	指摘を踏まえ事業実施の段階で検討
中井委員	オーガニック米は栽培が大変。出口があって取り組める。10~20年後を見据えた計画に、後継者への対応も必要	重点施策3において記載(第5-3-(1))
高木委員	多様な消費者ニーズが有る中、県民だれもが手に取って食べることができる環境づくりを期待する(食堂、学校給食)	重点施策1において、食育、流通促進について記載(第5-1-(2))
山川委員	誰が取り組むのかを具体的にイメージできる計画に。生産が不安定になりやすいので、オーガニックに取り組む農家の所得がどうなるのが重要	重点施策3において記載(第5-3-(1))
西田委員	直売所のお客さんの認知度は低い。認知度を高め、購入意欲を高める取組が必要	重点施策1において認知度向上について記載(第5-1-(2))
田中委員	オーガニックの推進に当たっては滋賀県らしさを何らかの付加価値とつける。また、推進に当たっては消費者行動等のデータを分析し活用することが必要では?	指摘を踏まえ事業実施の段階で検討
田中委員	生き物との親和性を評価し、取組結果に対して+αの支援を検討するなどし、滋賀らしさを出しては	国の制度を活用しつつ、ブランド力向上に向けた取組を強化する方向で検討
田中委員	環境に関する記述を強化し、SDGs県の優位性を表現するよう	「関連施策と連携した取組の推進」という項目を設け、SDGs等について記載
井手会長	国に振り回されず、次の世代に向けた直払いの検討を行う旨記載しては?また、これから起きる農業全体への取組へ対応	国の制度を活用しつつ、ブランド力向上に向けた取組を強化する方向で検討

環境こだわり農業推進基本計画の改定にかかる全体スケジュール（予定）

年度	月	庁内検討等	環境こだわり農業審議会等	県議会
平成29年度		方向性検討	7月 スケジュール等 12月 方向性検討 3月 中間論点整理	3月 常任委員会 中間論点整理報告
	4			
平成30年度	5	骨子検討		
	6			
	7			
	8		審議会(骨子検討)	常任委(骨子案説明)
	9	原案検討		
	10		審議会(原案検討)	
	11			
	12	県民施策コメント		常任委(原案説明)
	1		県民政策コメント	
	2	最終案検討	審議会(最終案検討)	
	3	策定・周知		常任委(最終案報告)